

019 年度成城大学文芸学部ヨーロッパ文化学科主催国際ワークショップ
古典文献学研究会（フィロロギカ）後援

「古代ローマにおける文化革新と逍遙」

開催日時：2020年3月4日（水）16時30分～19時

開催場所：成城大学3号館3階大会議室

研究発表

1. ジャンピエーロ・ロザーティ氏（ピサ高等師範学校教授）

「オウィディウスと欲望の劇場」

Prof. Gianpiero Rosati (Scuola Normale Superiore)

Ovid and the theatre of desire

2. ドナテッラ・プリーガ氏（シエナ大学文学部准教授）

「散歩術ーラテン文学における逍遙ー」

Prof. Donatella Puliga (University of Siena):

The art of walking: An *excursus* in Latin literature

使用言語：英語

趣旨

本セミナーでは、イタリアから招いた2名の専門家に古代ローマ文化についての研究報告をしてもらい、参加者と討議を行います。ロザーティ氏の報告では、帝政初期の詩人オウィディウス(43BCー17AD)に焦点を当て、彼が古典古代の詩人中、最も「近代的」とみなされる所以をその文業と生き方を通じて論じます。もうプリーガ氏の報告では、思考や創作の場として古代ローマで重要視された「逍遙」について論じ、ラテン文学作品における散歩の表象について検討を加えます。

019 年度成城大学文芸学部ヨーロッパ文化学科主催国際ワークショップ
古典文献学研究会（フィロロギカ）後援

「古代ローマにおける文化革新と逍遙」

プログラム：

16:30 開会のことば：戸部順一（成城大学学長）

16:35 趣旨説明（司会）：日向太郎（東京大学教授）

16:45－17:30 研究発表（その1）

ジャンピエーロ・ロザーティ氏（ピサ高等師範学校）：

「オウィディウスと欲望の劇場」

Prof. Gianpiero Rosati (Scuola Normale Superiore)

Ovid and the theatre of desire

17:30－18:15 研究発表（その2）

ドナテッラ・プリーガ氏（シエナ大学文学部）

「散歩術－ラテン文学における逍遙－」

Prof. Donatella Puliga (University of Siena)：

The art of walking: An *excursus* in Latin literature

（休憩）

18:30－19:00 質疑応答・討論